

「ISO14001」認証取得店舗拡大のお知らせ

… 持続可能な循環型社会実現のために …

当社では、2006年9月に、本社および5店舗で環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」認証の取得をいたしました。このたび、マルエツ、フードックスプレス、リンコスの185店舗におきまして、新たに認証を取得し、店舗を拡大いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、1991年より牛乳パックの店頭回収を始め、1993年には、全店で食品トレイの回収をスタートいたしました。また店頭で回収した牛乳パックやアルミ缶のリサイクル資源売却益を「マルエツ緑化資金」として、緑化事業に寄贈するなど、地域に根ざした地道な環境活動を行ってまいりました。

2004年には、当社の環境活動の目標設定と進捗管理等を行う「環境委員会」を設置し、2006年8月には、「マルエツ環境方針」(2008年3月改訂：次頁ご参考)を制定しました。これらの方針に基づき、CO₂排出量を削減するため、環境負荷を軽減する活動や最終的な廃棄物を削減するための3R[リデュース(発生抑制) リユース(再使用) リサイクル(再生利用)]を積極的に推進してまいりました。

2008年7月には、CO₂排出量の削減目標として「2012年度に一店舗平均で、10%削減(2007年度比)」を設定しました。これらの目標を達成するため、今後も地域や社会に密着した環境活動を推進し、良き企業市民としての社会的責任を果たしてまいります。

【「ISO14001」認証取得内容】

[取得事業所] 本社および190店舗
・本社
・マルエツ 172店舗
・フードックスプレス 14店舗
・リンコス 4店舗

[審査登録機関] 株式会社 日本環境認証機構(JACO)

[認証日] 2008年9月10日



【「ISO14001」とは】

1996年に制定された環境マネジメントシステムの国際規格です。組織が、環境に配慮した活動を行っていくための仕組みを作り、その仕組みを維持改善していくための必要事項を定めています。この仕組みを運用することで、環境負荷の低減を目指しています。

ご参考

[マルエツ環境方針]

マルエツは地域に密着したフレンドリーな「地縁ストア」として、安全で安心な商品やサービスの提供とともに持続可能な循環型社会を目指し、環境保全活動や地域の環境活動への支援を推進し、汚染の予防と継続的改善に努めます。

1. 環境マネジメントシステムにより、事業活動における環境負荷を最小限にするために具体的な環境保全上の目的と目標を設定し、定期的に見直します。

環境に配慮した商品の開発と普及に取り組みます。

省エネルギー・省資源を推進します。

最終的な廃棄物を削減するために、3R [リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再生利用)]を推進します。

地球温暖化防止のため、上記施策を推進し、CO₂換算による売場面積、営業時間あたりのCO₂排出量を削減します。

2. 当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
3. この方針を全従業員に周知徹底し、従業員一人ひとりが主体的に環境保全活動に取り組みます。
4. この方針は社内外に公表し、積極的な情報提供に努めます。

2008年3月1日

株式会社 マルエツ

代表取締役社長 高橋恵三

[マルエツの環境に対する主な取り組み]

<リサイクル資源の店頭回収>

- ・牛乳パック・食品トレイ・ペットボトル・アルミ缶の店頭回収活動
- ・開発途上国の子供たちにワクチンを贈るためのペットボトルキャップの回収
(2008年10月 全店にて実施予定)

<廃棄物の削減・資源化>

- ・魚腸骨・廃食油・野菜くず等の廃棄物の削減および資源化の推進
- ・古紙の分別回収によるリサイクルの実施
- ・レシート・チラシ等の再生紙利用

<省資源・省エネルギー>

- ・レジ袋削減のための「お買物袋持参運動」の推進
- ・青果・惣菜・鮮魚のバラ販売等による包装資材の削減
- ・全社的なエネルギー(電気・ガス・水道)使用量の削減
- ・節水器等の省エネルギー機器導入による資源の節約

<環境配慮型商品の開発・販売>

- ・快適さと省資源・環境保全を考慮した当社開発商品の「HOME e X」の開発・販売
- ・詰め替え用商品の品揃えと販売

<越谷レイクタウン店での主な取り組み>

- ・店内の冷蔵ケース内部照明と外部サインに発光ダイオード(LED)照明を採用
- ・店内の基本照明器具には、省エネルギー型蛍光灯を使用
- ・店舗で排出した生ゴミを堆肥化し、指定農家で栽培した循環型農産物を販売

以上